

特集

日頃から備えよう クマ対策



昨年度は、全国でクマによる人身被害件数が過去最多となる中、当市においてもクマの目撃情報が過去最多となったほか、木の伐採などをしていた作業員が襲われ、けがを負う人身被害が発生しました。冬眠期間を終えたクマは、春に餌を求めて里山や人家周辺まで出没して来ることがあります。今号ではこれからの出没時期に向けて、クマの被害から私たちの生命や暮らしを守るための対策をお伝えします。



詳しくは

■問合せ…環境政策課 (☎025-520-5690)

市内の 出没状況

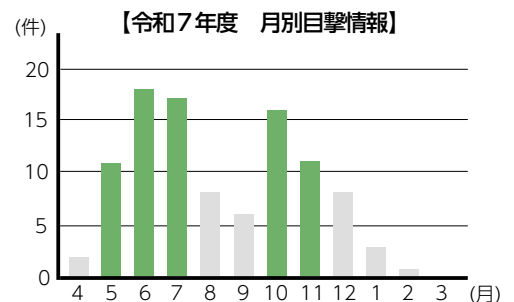
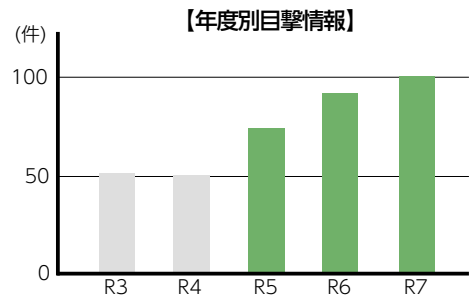
●直近3年で増加

人里周辺の荒廃地などがクマにとって生息しやすい環境になり、目撃件数が増加しています。

耕作放棄地の拡大により隠れて移動できる場所が増えていることや、餌となる果実や生ごみの放置によって誘引されることなどが、要因になっていると考えられます。

●春と秋に多数の目撃

子グマと親グマが離れる分散期・繁殖期（5月～7月）、冬眠に備えて食欲が増す飽食期（10月～11月）に行動が活発になるため、目撃が多くなる傾向があります。



市の取り組み

出没抑制対策

公共用地での電気柵や音で威嚇する爆音機の設置、草刈りによる見通しの良い空間の確保などに取り組んでいます。

出没時の対応

目撃情報があった場合は、迅速に情報発信するとともに警察や市職員によるパトロールを行っています。

市民の皆さんへの啓発

出没を防止するための対策や、身を守るための安全対策を繰り返し発信するほか、学習会を実施しています。



環境政策課
上原主任

すぐにできる 出沒防止対策

餌となるものを取り除く

未収穫の農作物や生ごみなどはクマの餌となり、出沒の原因となる恐れがあります。クマの出沒する時期に備え、不要な果樹は伐採するなど適切な処理に努めましょう。



隠れて移動できる場所をなくす

クマは、やぶなど人目につきにくい場所を利用しながら行動します。移動経路となるやぶを刈ることで出沒抑制につながります。日頃から自宅周辺の草刈りなどの適切な管理を行い、クマが近寄れない環境を作りましょう。



身を守るための 安全対策

⚠️ クマと遭遇しないために

●クマに人がいることを知らせる

ラジオやクマ鈴を持ち歩いたり、複数人で会話しながら歩いたりしましょう。音に反応したクマは、その場から立ち去る傾向があります。



●クマの隠れそうな場所は避ける

やぶや雑草に身を潜めていることがあります。茂みの中からガサガサ・バキバキという音が聞こえたら、その場から離れましょう。

⚠️ クマに遭遇してしまったら

●クマが遠くにいる場合はすぐに避難する

クマがこちらに気づいておらず、近くに建物や車がある場合は、すぐに避難しましょう。

●クマが近づいてきた場合は慌てて逃げない

背を向けたり、走って逃げたりはせず、木や石などの障害物を挟むように移動して距離をとりましょう。

●襲われそうになった場合は頭部を守る

クマの攻撃は、人間の頭部に集中する傾向があります。両手を首の後ろに回しうつ伏せになり、頭、首、顔面、腹をガードし致命傷を防ぎましょう。また、万が一のために撃退スプレーを持参しましょう。



情報をいち早く知るために
安全メール、市公式LINEの登録を

市では、クマの目撃情報などを安全メール、市公式LINEで周知しています。クマの居場所をいち早く知り、遭遇しないようにしましょう。

また、クマを見かけた際は、近寄らず市役所（☎025-526-5111）、各総合事務所、最寄りの警察署へ連絡してください。



登録方法



お出かけの際に
出沒マップの確認を

県では、「にいがたクマ出沒マップ」でクマの目撃情報を発信しています。クマに遭遇しないためにも、出かける前にご確認ください。



詳しくは

